

エルナー株式会社

平成20年度中間期 業績のご説明

平成20年8月8日

平成20年度中間期の業績について

ELNA

平成20年度中間期におきましては、需要が堅調な高付加価値品への増産投資を積極的に行い、拡販に取り組む一方、工場の生産性向上、生産品目の最適な生産配分等によるコスト削減を推し進めてまいりました。

この結果、連結売上高は200億7千8百万円（前年同期比8.6%増）、連結営業利益10億4千4百万円（前年同期比30.3%増）、連結経常利益6億6千1百万円（前年同期比13.9%増）の増収増益となりましたが、連結中間純利益は、法人税及び法人税調整額の増加により4億5千万円（前年同期比13.3%減）となりました。

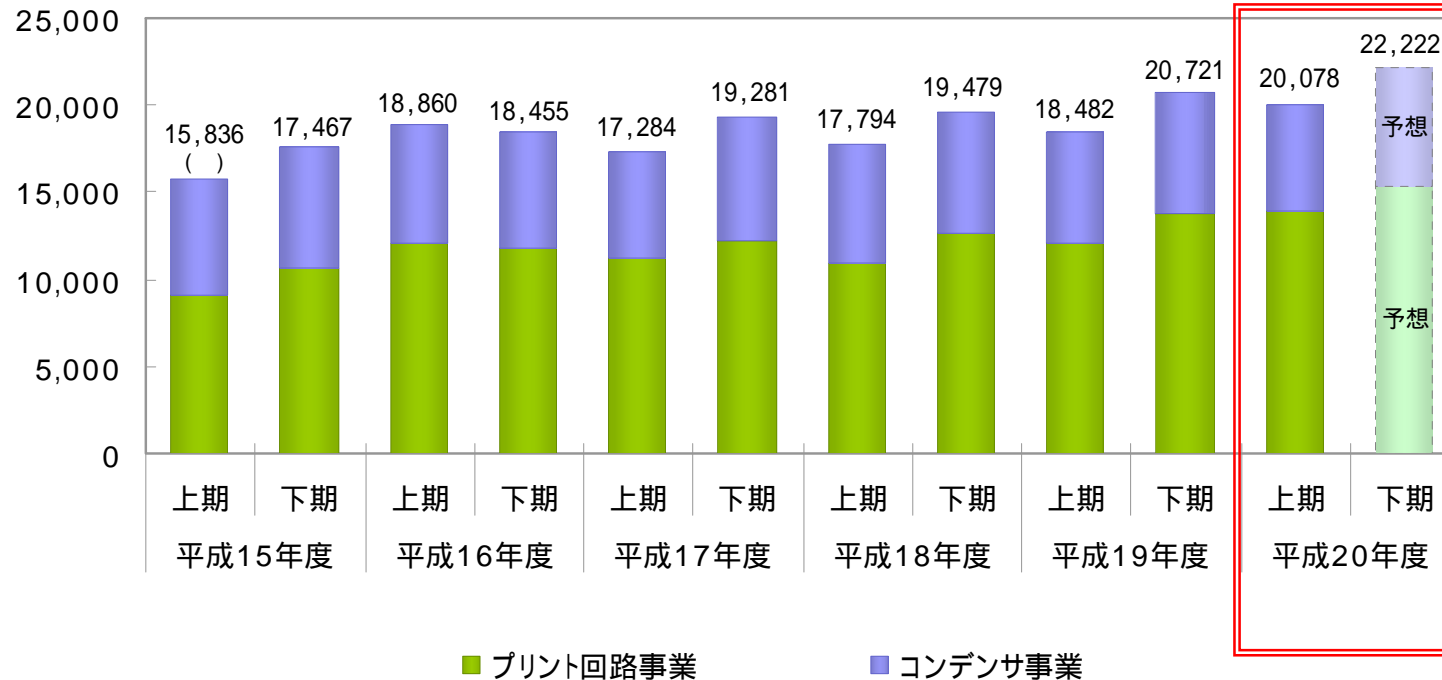
現中期計画の達成により「安定した収益構造」の実現を果たし、今後は積極的な開発投資、設備投資の実行により成長を加速し、5年後には連結売上高800億円、営業利益75億円の規模を有する、世界市場における主要な電子部品製造企業となることを目指す所存でありますので、株主の皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以下、平成20年度中間期の業績についてご説明申し上げます。

平成20年度中間期業績レビュー ～ 売上高

平成20年度中間期の連結売上高は200億7千8百万円（前年同期比8.6%増）となりました。
 事業別では、コンデンサ事業における連結売上高は61億5千6百万円（前年同期比4.1%減）、プリント回路事業における連結売上高は139億2千2百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

【事業別連結売上高の推移（単位：百万円）】

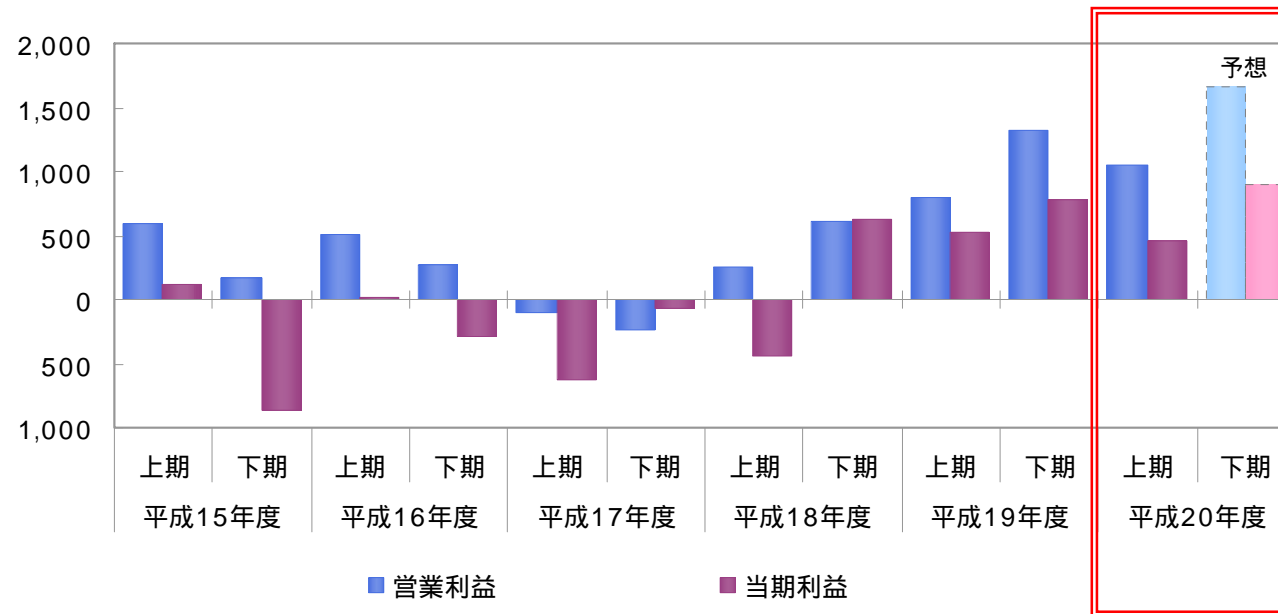


グラフ中の数値は、全社の連結売上高

平成20年度中間期業績レビュー ～ 損益

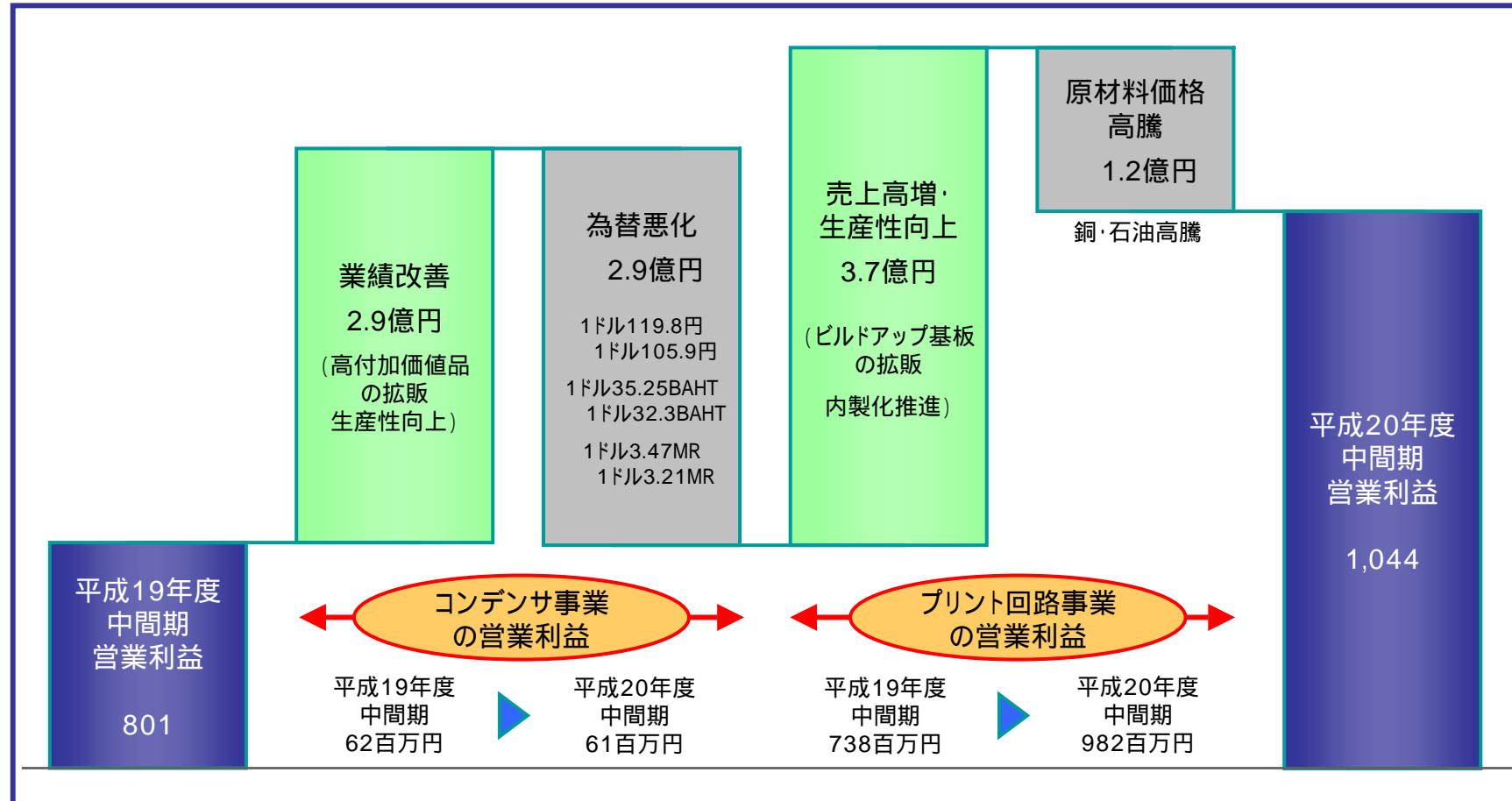
平成20年度中間期の損益につきましては、連結営業利益10億4千4百万円（前年同期比30.3%増）、連結経常利益6億6千1百万円（前年同期比13.9%増）の増益となりましたが、連結中間純利益は、法人税及び法人税調整額の増加により4億5千万円（前年同期比13.3%減）となりました。

【連結営業利益および連結当期利益の推移（単位：百万円）】



平成20年度中間期業績レビュー ~ 営業利益の改善

【単位:百万円】



前年同期比
30.3%増

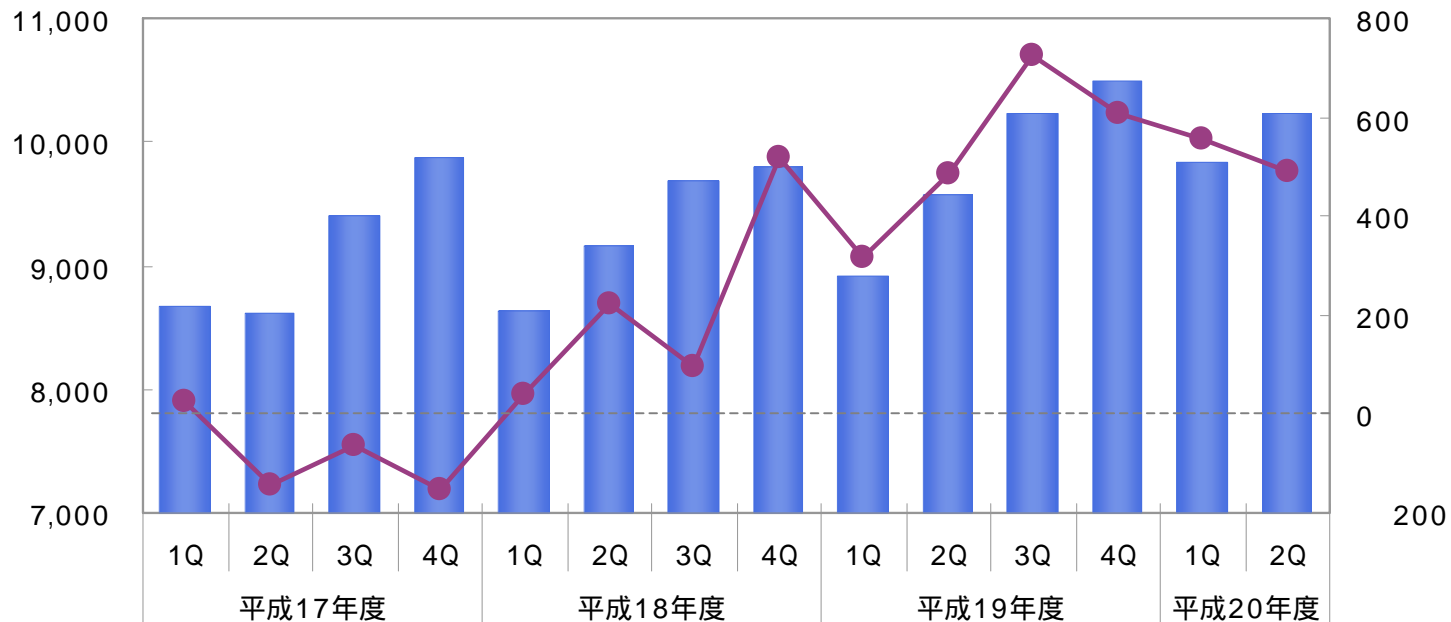
BAHT=タイバツ、RM=マレーシアリングット

平成20年度中間期業績レビュー ～ 四半期別業績推移

連結業績は、平成18年度以降右肩上がりに改善しており、「安定した収益構造」を実現することができました。

当社グループは成長を加速し、5年後には連結売上高800億円、営業利益75億円の規模を有する、世界市場における主要な電子部品製造企業となることを目指します。

【連結四半期業績の推移（単位：百万円）】

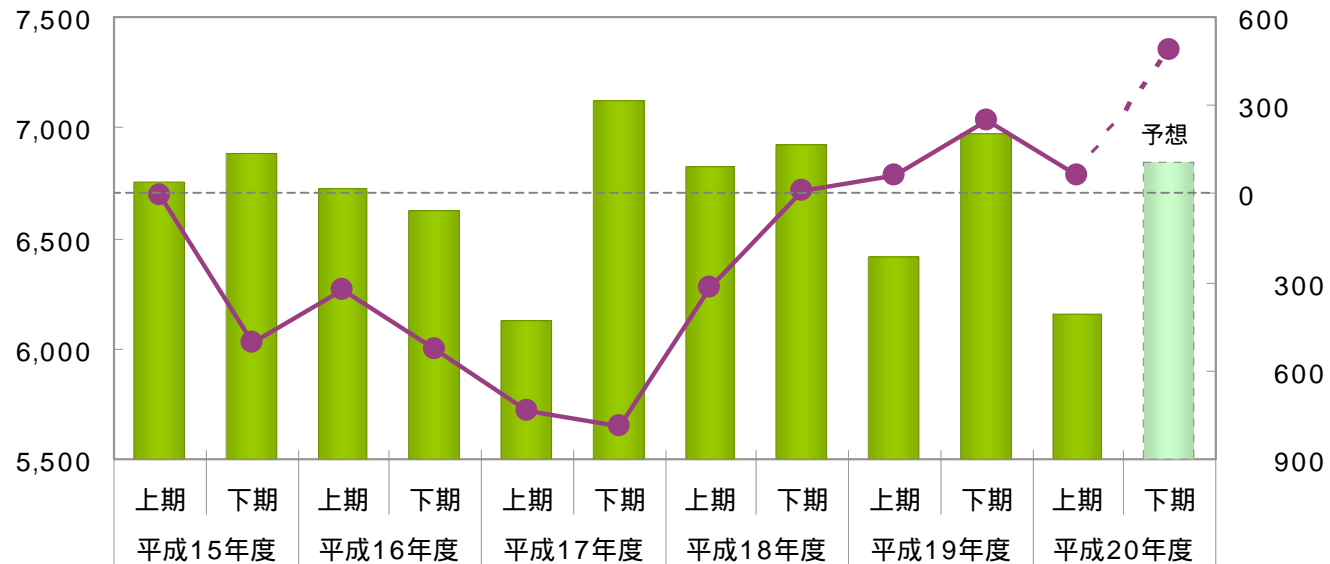


棒グラフは売上高（左軸）、折線グラフは営業利益（右軸）

平成20年度中間期業績レビュー ～ コンデンサ事業の業績

コンデンサ事業におきましては、高付加価値商品への集中、最適な生産配分による生産性の向上や生産コスト削減等に努めたもののドル安が進展した影響が大きく、連結売上高は61億5千6百万円（前年同期比4.1%減）、連結営業利益6千1百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

【コンデンサ事業の連結業績推移（単位：百万円）】

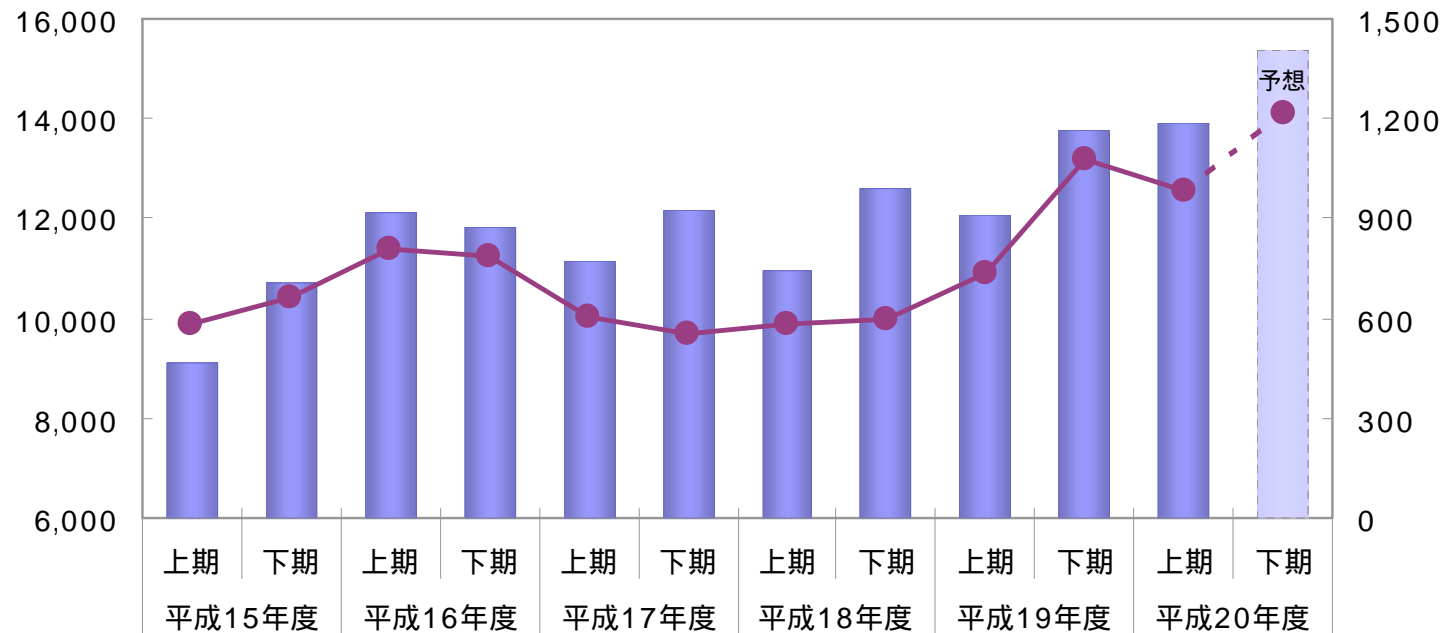


棒グラフは売上高（左軸）、折線グラフは営業利益（右軸）

平成20年度中間期業績レビュー ～ プリント回路事業の業績

プリント回路事業におきましては、国内においてはビルドアップ基板、東南アジア地域においては多層基板の生産販売が順調に拡大していることや、コスト削減等に努めた結果、連結売上高139億2千2百万円（前年同期比15.4%増）、連結営業利益9億8千2百万円（前年同期比33.1%増）の大幅な増収増益となりました。

【プリント回路事業の連結業績推移（単位：百万円）】



棒グラフは売上高（左軸）、折線グラフは営業利益（右軸）

業績予想

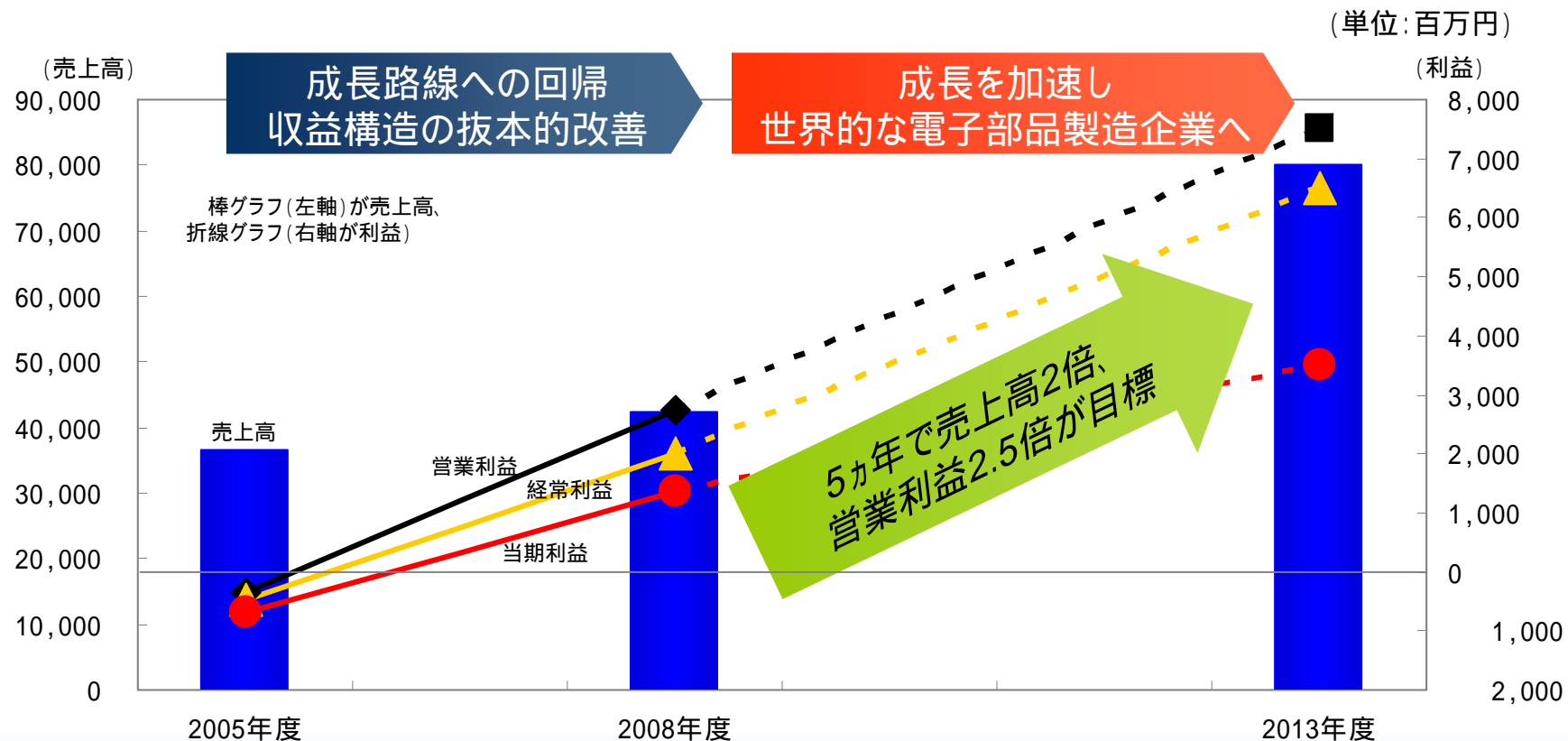
平成20年度通期の業績につきましては、連結売上高423億円、連結営業利益27億5千万円、連結経常利益20億円、連結当期純利益13億5千万円を予想しております。また、平成20年度期末配当につきましては、普通株式1株当たり3円の配当を計画しております。

	平成18年度 実績		平成19年度 実績		平成20年度 予想	
売上高	37,273	100.0%	39,203	100.0%	42,300	100%
営業利益	867	2.3%	2,131	5.4%	2,750	6.5%
経常利益	316	0.8%	1,435	3.7%	2,000	4.7%
当期純利益	189	0.5%	1,292	3.3%	1,350	3.2%
1株当り純利益	5.12円	-	31.08円	-	32.45円	-
設備投資額	2,659		1,686			
減価償却費	1,722		1,874			
研究開発費	671		648			

単位：特に記載のないものは百万円

中長期的な経営目標

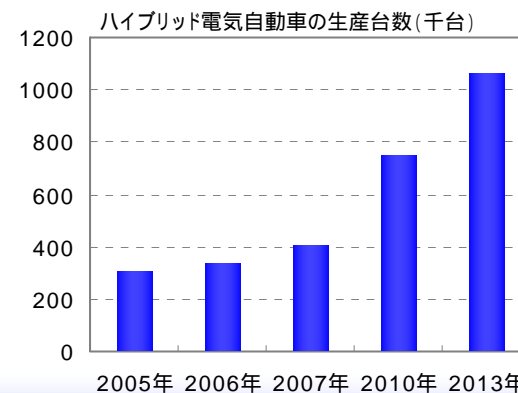
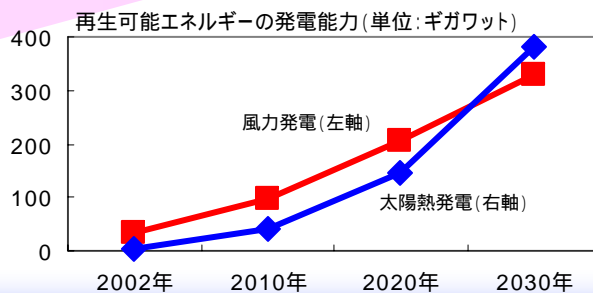
現中期計画の達成により「安定した収益構造」の実現を果たし、今後はコンデンサ事業、プリント回路事業ともに、積極的な開発投資、設備投資の実行により成長を加速し、5年後には連結売上高800億円、営業利益75億円の規模を有する、世界市場における主要な電子部品製造企業となることを目指します。



コンデンサ事業 ~ 電気二重層コンデンサによる成長加速

電気二重層コンデンサは技術革新による静電容量の増加とともに、飛躍的に用途の拡大が見込まれている製品です。
 当社は電気二重層コンデンサの老舗として、これまで蓄積した高度な技術力と、更なる集中的な研究開発により技術を革新し、成長を加速させて行きます。

既に実用化されている領域 ← 実用化が進んでいる領域 →



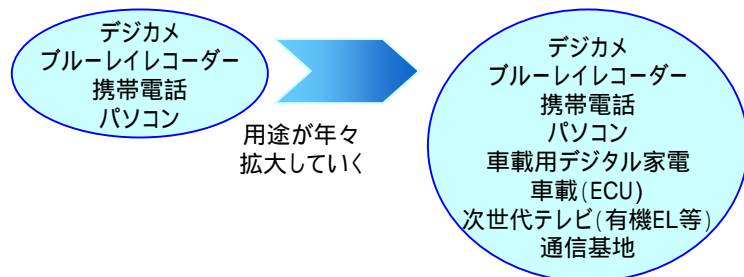
プリント回路事業 ~ 積極的な設備投資による成長加速

国内においては、ビルドアップ基板を中心に高収益商品の拡販に注力し、生産能力増強・生産性向上のための投資を積極的に実施してまいります。海外においては、特にASEAN地域では家電用、自動車用の需要が急拡大しており、工場社屋の新設も含め、大型設備投資を実行することで事業規模を急拡大させる方針です。

国内:ビルドアップ基板を中心に拡販

『ビルドアップ基板』は電子機器向けに需要拡大

電子機器の高機能化、多機能化、軽薄・短小化に伴い、プリント配線板の主役は必然的に『ビルドアップ基板』となる。



海外:ASEAN地域を中心に拡大

海外においても高品質を追求し、差別化を図る

エルナーPCBマレーシアは、既に生産の中心を多層板にシフト。将来的にはビルドアップ基板への対応も推進。

【プリント回路事業の売上高目標】

